

迎えるためには、それなりの過程がある。作物でも樹木でも、手入れをする時期があることはだれでも知っていることだ。種を蒔く時期、肥料を与える時期、除草の時期などそれにある。諺に「彼岸過ぎての麦の肥」というのがある。つまり手入れも節を外すと無になってしまう。また節を外さず努めた場合でも天候に左右され、また病虫害にも大きく影響される。考えによつては子供の成長もまた同じである。

現代に生きる子供たちを見ていると、自分というものを持てなくて周囲の環境に左右される者が多くられる。その子供たちに大切なのは、自分を知り、自分の生き方を考え、自分の「人生の導き星」を持つことだ。

自分を支え、生き方をリードしてくれる導き星を持つ方法としては、各自それぞれの方法があるだろうと思ふが、その中に読者も有効な方法として挙げられるだろう。

読者は知性を磨き教養を高めてくれる。例えば、江戸期の佐藤一斎は「少にして学べば壯にして為すなり、壯にして学べば老いて衰えず、老いて学べば死して朽ちず。」といつている。この言葉に、彼が先達の書を基に、八十二歳までの研鑽を重ねた姿

を見る事ができる。少にして学べ

ば壯にして為すなりと言ふが、私は

高校時代に夏休み蟬時雨の中、O・

ヘンリーの「最後の一葉」を辞書を

片手に読んだが、老画家の心の優しさが今でも心に焼き付いている。

読書には国境もなく昔も今もな

い。また専門も職業も階級なども一

切関係なく、誰とでも直接に、その著

者と、何時でも何処でも語り合える

のであるから、読書は自分の人生の

導き星に出会える一つであると思う。

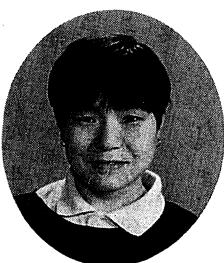
現代の子供たちは、自分を静かに

導き星に出会える一つであると思う。

現代の子供たちは、自分を静かに

初心を大切に

松 尾 厚 子



「おねえちゃん。遊ぼう！」

保育所の保母になつて初めての入

所式の日、キラキラ輝く澄んだ瞳が

一斉に私に向き、保護者の熱い眼差

しと併せて、緊張で身動きができるな

くなつてしまつたことが昨日のこと

のようになります。

若さと体を動かすことだけはだれ

にも負けない、と子供と一緒に遊び

見つめ、人生について考えたり、読書をしたりするには、テレビなどに

い起りますと、子供に一方的に与

えていくことばかりだつたとも言え

ます。つまり、子供のすべてを

受け入れてやさしく返してやるので

はなく、つい目先のことばかりに気

をとられ、子供の気持ちを理解して

豊かに育ついくために、見守る大

人たちも、子供の成長にあわせた読

書しやすい、より良い環境づくりを

してやってほしい。

(県立喜多方女子高等学校教諭)

というまに過ぎようとしています。

今、改めて自分の保育の足跡を思

い起しますと、子供に一方的に与

えていくことばかりだつたとも言え

ます。つまり、子供のすべてを

受け入れてやさしく返してやるので

はなく、つい目先のことばかりに気

をとられ、子供の気持ちを理解して

豊かに育ついくために、見守る大

人たちも、子供の成長にあわせた読

書しやすい、より良い環境づくりを

してやってほしい。

最近になつてようやく子供と同じ

目線に立つてやることの大切さがわ

かつてきましたような気がします。

時代の進展とともに、子供を取り巻

く環境は様々に変わりつつあります。

子供自身の問題ばかりではなく、周

りの大人たちの問題も絡んで複雑か

つ難しい問題も多発しており、保育

だけの技術だけではうまく乗り切つ

ていけないような現実にさえ直面す

るようになつてきました。

解決を迫られる問題が生じた場合

でも、保育者としてどこまで踏み込

んでいいものか解決の方法が見えな

いまま、迷い、悩んでしまうこともあります。

しかし、先輩や同僚と協力し、「子

供の笑顔に応える」ことを究極の願いとして努力することにしていま

す。新しい学力観に基づく教育の一環として責任ある保育をしていかな